

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	Fast 3D modeを用いた腹部ダイナミック造影MRIの画質に関する検討		
② 実施予定期間	実施許可日から 2027年3月31日		
③ 対象患者	以下の対象期間中に当院の対象診療科（放射線科、第1内科、第1外科、第2外科）でキャノンメディカルシステムズ社製の3テスラMRI装置（Vantage Centurian）を用いて、腹部ダイナミック造影MRI検査を受けられた患者さん		
④ 対象期間	研究対象とする期間：2023年1月1日から2024年3月31日 なお情報を収集する期間は2019年1月1日から2024年3月31日とする。		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	放射線科、第1内科、第1外科、第2外科		
⑦ 研究責任者	氏名	伊東 克能	所属 放射線科
⑧ 使用する情報等	<p>既存の情報から収集される情報： 識別コード、年齢（MR検査時）、性別、現病歴、既往歴、腹部MRI</p> <p>研究で作成される情報： 日常診療にて得られた腹部MRI（①Fast 3D modeの画像と②圧縮センシングの画像）について下の項目に関して画質評価、正常解剖の描出能を調査する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定量評価： 肝臓、脾臓、大血管、筋肉の信号強度や標準偏差 ・ 定性評価： 画像ノイズやアーチファクトの有無、血管などの正常構造の描出能 		
⑨ 研究の概要	<p>腹部ダイナミック造影MRIでは、造影剤の経時的变化を観察するために短時間で撮像する必要があります。近年、キャノンメディカルシステムズ社からFast 3D modeという高速撮像法が開発されました。これは画像データのサンプリング率を減らして高速撮像する圧縮センシングとは異なり、画像のサンプリング率を減らさずに高速化を可能にする新しい技術であり、画質の向上が期待されます。当院ではこの新しい撮像技術であるFast 3D modeを用いた腹部ダイナミック造影MRIを2023年1月より行っているが、圧縮センシングを用いた腹部ダイナミック造影MRIとの画質の違いを検討した報告はない</p>		

	本研究の目的は、Fast 3D modeで撮像された腹部ダイナミック造影MRIと、以前に撮像された圧縮センシングを用いた腹部ダイナミック造影MRIを比較することです。ノイズやアーチファクトの有無を評価すること、腹部臓器や血管などの構造が明瞭に描出できるかを評価することは、今後の腹部ダイナミック造影の画質向上を目指す上で重要な指標となります。			
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2024年 5月 31日		
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	放射線医学講座の奨学寄付金にて行います。			
⑯ 利益相反	ありません（キャノンメディカルシステムズ社からの寄付金の受け入れもありません。）			
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線科 担当者：田辺 昌寛			
	電話	0836-22-2285	FAX	0836-22-2285